

入力 NO.	社協属性	問 45 自由記入
525	市社協等	福祉資金の受給後、すぐに生活保護を申し出られました。返済の時期になり、連絡が全く取れなくなりました。同じ民生委員がかかわっていてくれた為、全てがわかりましたが、本人の居場所はつかめません。担当民生委員も交代となってしまう、本人が違う場所から生保を申しでたら返済もなくなってしまうケースが有ります。何か抜け穴のようで納得できません。
526	市社協等	実施主体の都道府県社協に尋ねた方がよい項目がいくつかあります。遅くなり申し訳ありません。参考になるかどうかわかりませんがお役立てください。
531	市社協等	現場では貸付だけでなく、返済まで指導しなくてはならない。小さな社協では債権回収のノウハウがなく、低所得者への貸付であるため、なおさらこげつきのリスクが高く、実際多い。正直に言って、給付にはおよび腰である。県が直接おこなった方がよいと思うこともある。
534	市社協等	・相談者は「とにかくすぐ借りたい」というだけで自立に向けた支援へなかなか結びつけられない。・社協以外にも相談機関があり、各所で相談内容の重複や重なった情報提供をする場合もあり、相談者に迷惑がかかっている。

■ 第三部 資料

(1) 調査票様式

(2) 単純集計結果一覧表

低所得者へのセーフティネット機能の強化に関する実態調査

I あなたの所属する社会福祉協議会（以下、「社協」）の組織体制や事業についてうかがいます。数値記入の際は、把握されている直近の数字をご回答ください。（※あなたの社協で回答可能な方がご記入ください。）

問 1 社協の区分や位置する自治体についてうかがいます。

1) 貴社協の市町村区分

1. 市（東京 23 区はこれに含まれます） 2. 区（政令市の区） 3. 町 4. 村

2) 管内（※区社協の場合は「区」）の人口 _____ 人

3) 管内の高齢化率 _____ パーセント

4) 管内の世帯数 _____ 世帯

5) 市町村合併の有無（平成 17 年 4 月以降の合併） 1. あり 2. なし

6) 担当エリアを管轄する福祉事務所の数 1. 一箇所のみ 2. 二箇所以上

問 2 あなたの社協全体、および、地域福祉活動専門員（コミュニティ・ワーカー）の職員体制（正規・非正規の職員数、各資格の保有者数）について、ご記入ください。

1) 社協全体の職員		正規職員		非正規職員		名	
		名	名	常勤	名	非常勤	名
資格保有者数	社会福祉士	名	名	名	名	名	名
	精神保健福祉士	名	名	名	名	名	名
	介護福祉士	名	名	名	名	名	名
	介護支援専門員	名	名	名	名	名	名
2) 地域福祉活動専門員 (コミュニティワーカー)		正規職員		非正規職員		名	
		名	名	常勤	名	非常勤	名
資格保有者数	社会福祉士	名	名	名	名	名	名
	精神保健福祉士	名	名	名	名	名	名
	介護福祉士	名	名	名	名	名	名
	介護支援専門員	名	名	名	名	名	名

※「資格保有者数」は、資格ごとに人数を数えてください。（例：1人で社会福祉士、介護支援専門員の2資格をお持ちの場合、「社会福祉士1名」「介護支援専門員1名」となります。）

問 3 コミュニティ・ソーシャルワーカー（注参照）と呼ばれる人を配置していますか。

1. 配置あり 2. 配置なし

（注）コミュニティ・ソーシャルワーカーとは？・・・CSW（コミュニティソーシャルワーク）を担う人です。CSWとは、従来のCW（コミュニティワーク）が利用者を取り巻く社会環境（＝地域社会）へ介入することを主眼としているのに対し、CSWは地域社会で生活する利用者の個別支援と、CWでいう地域支援（援助）を結びつけていくことを目的とした、新しい方法・技術です。「これからの地域福祉のあり方検討会報告書」で提示された地域福祉コーディネーターの用いる、地域支援の方法・技術が、CSWであると考えられます。

■あなたの社協で実施している事業についてうかがいます。

問 4 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）を実施していますか。

1. はい 2. いいえ ※「はい」の場合 ⇒ 専門員： _____ 名、生活支援員： _____ 名

問 5 会員制の住民参加型サービスを実施していますか。 1. はい 2. いいえ

※「はい」の場合 ⇒ 担当職員： _____ 名、協力会員 _____ 名、利用会員 _____ 名

問 6 以下の事業を実施していますか。

1) ふれあい生き生きサロンの運営支援	1. 実施している → サロンの数 _____ 箇所 2. 実施していない
2) ミニデイサービスの運営支援	1. 実施している → 開催場所の数 _____ 箇所 2. 実施していない
3) 見守りネットワーク事業	1. 実施している → 事業の利用者（対象者）数 _____ 名 2. 実施していない

問 7 総合相談・なんでも相談を実施していますか。 1. はい 2. いいえ

※「はい」の場合 ⇒ 担当職員：正規 _____ 名、非正規 _____ 名

ボランティア（民生委員含む）： _____ 名

⇒窓口の開設 1. 常時 2. 一週間の決まった日時 3. ひと月の決まった日時 4. その他

問 8 より小規模な地域、または、コミュニティの単位（地区等）ごとに、社会福祉協議会の活動拠点（地区社協等）がありますか。 1. ある 2. ない

※「ある」の場合 ⇒ 地区の数： _____ 個、うち地区社協のある地区の数： _____ 個

問 9 ボランティアセンターの機能をもっていますか。 1. はい 2. いいえ

※「はい」の場合 ⇒ ボランティアコーディネーターの人数 _____ 人

問 10 あなたの社協では、低所得者・生活困窮者の支援を目的とした、以下の事業や活動を実施していますか。実施しているものすべてに○をつけて下さい。（○はいくつでも）

ア. 低所得・生活困窮者の支援を主な目的とした個別援助事業

イ. 貴社協（市区町村社協）が独自に必要性を判断して貸付（国の制度以外）ができる事業

ウ. 貸付以外の、現金給付の事業

エ. 貸付以外の、現物給付の事業

オ. その他（具体的に： _____)

問 11 あなたの社協では以下のサービスを実施していますか。実施の有無をお答えください。

A. 高齢者を対象とした事業		
1) 介護保険事業の実施		1. 有 2. 無
1)を実施している場合	a.介護給付サービスの実施	1. 有 2. 無
	b.予防給付サービスの実施	1. 有 2. 無
	c. 地域包括支援センターの受託	1. 有 2. 無
	d. その他 ()	1. 有 2. 無
2) 当事者組織の運営・支援		1. 有 2. 無
B. 障害者(児)を対象とした事業		
1) 自立支援給付の実施		1. 有 2. 無
1)を実施している場合	a.介護給付サービスの実施	1. 有 2. 無
	b.訓練等給付サービスの実施	1. 有 2. 無
	c. 地域生活支援事業の実施	1. 有 2. 無
	d. その他 ()	1. 有 2. 無
2) 当事者組織の運営・支援		1. 有 2. 無
C. 子どもや子育てを対象とした事業		
1) 児童・幼児の施設での預かり事業 (保育所、児童館、学童保育、託児施設など)		1. 有 2. 無
2) 在宅支援(ファミリーサポート事業等)の運営・補助		1. 有 2. 無
3) 当事者組織の運営・支援		1. 有 2. 無
4) その他 ()		1. 有 2. 無

II 第二のセーフティネットのひとつである総合支援資金の貸付やそれにかかわる相談支援の実施についてうかがいます。(※以下は、生活福祉資金の担当の方がご記入ください。)

■貸付の実績(あなたの市区町村社協で受けつけた分)についてうかがいます。

問 12 平成20年度の生活福祉資金貸付の実績をご記入ください。

(平成20年度実績) ※不明の場合は「不明」とご記入ください。

貸付種類	相談件数	借受申込 件数	貸付決定 件数	貸付中件数 (20年度末)	20年度末時点の 償還率(償還計画額に 対する償還額の割合)
更生資金	件	件	件	件	%
福祉資金	件	件	件	件	%
療養・介護等資金	件	件	件	件	%
災害援護資金	件	件	件	件	%
緊急小口資金	件	件	件	件	%
離職者支援資金	件	件	件	件	%
修学資金	件	件	件	件	%

問 13 平成 21 年 12 月の総合支援資金貸付等の実績（1 ヶ月分）をご記入ください。

（平成 21 年 12 月実績） ※不明の箇所は「不明」とご記入ください。

貸付種類	相談件数	借受申込 件数	貸付決定 件数	決定件数中、 保証人なし	住宅手当 の併用	つなぎ資金 の併用
総合支援資金（合計）	件	件	件	件	件	件
（住宅入居費）		件	件	件		件
（生活支援費）		件	件	件	件	件
（一時生活再建費）		件	件	件	件	件
臨時特例つなぎ資金	件	件	件			
福祉資金（緊急小口）	件	件	件			
福祉資金（福祉費）	件	件	件	件		
教育支援資金	件	件	件	件		

問 14 平成 21 年 12 月に、総合支援資金を貸付決定した「実人数」は何名ですか。

総合支援資金の貸付決定の実人数（平成 21 年 12 月分） _____ 名

問 15 総合支援資金の貸付に伴う「自立計画書」についてうかがいます。平成 21 年 12 月中に貸付決定した方のうち、「自立計画書」を策定した人数は、何名ですか。

自立計画書の策定人数（平成 21 年 12 月分） _____ 名

問 16 住宅手当の申請の受付を受託していますか。 1. はい 2. いいえ

■貸付の実施体制や貸付を担当している職員の兼務の状況について、うかがいます。

問 17 貸付部署の職員体制をご記入ください。（※資格保有者数は、資格ごとに人数を計上）

貸付を担当している職員 (合計) _____ 名		正規職員 名	非正規職員		名
			常勤	非常勤	
資格 保有 者 数	社会福祉士	名	名	名	名
	精神保健福祉士	名	名	名	名
	介護福祉士	名	名	名	名
	介護支援専門員	名	名	名	名

貸付担当のうち、1. 貸付のみを担当している（兼務していない）職員の数： _____ 名

2. 兼務している職員の数： _____ 名

問 18 貸付の担当職員が兼務している業務として、あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

ア. 介護保険法や障害者自立支援法のサービスに関する事業

イ. 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業） ウ. 住民参加型サービスの運営

エ. 当事者の組織化活動 オ. 地域住民の組織化活動 カ. ボランティアセンターの運営

キ. 企画・財政（経理） ク. 広報 ケ. 共同募金 コ. その他（ _____ ）

問 19 平成 21 年度中、現在までに貸付部署の担当職員の増員がありましたか。または、現時点で、平成 22 年度末までに具体的な増員の予定がありますか。

1. あり 2. なし ⇒「あり」の場合：以下の「SQ19-1」に、お進みください
⇒「なし」の場合：以下の「SQ19-2」に、お進みください

SQ19-1 増員（平成 21 ないし 22 年度予定を含む）が「あり」の場合

- (1) 増員（予定）の人数 _____ 名
- (2) 増員の方法として、あてはまるものを選んで○をつけてください（○はいくつでも）
ア. 新規に雇用 イ. 他部門からの配置替え ウ. その他（具体的に _____）
- (3) 増員の理由として、最もあてはまるものをひとつ選んで下さい。
ア. 貸付の相談・申込・契約に関する業務を、より円滑に行うため
イ. 償還に関する業務を、より充実させるため
ウ. 貸付を行なった者に対する自立支援の体制を、強化するため
エ. その他（具体的に： _____）
- (4) 増員した方（予定を含む）の担当業務を、具体的にご記入ください。

SQ19-2 増員（平成 21 ないし 22 年度予定を含む）が「なし」の場合

増員「なし」の理由として、最もあてはまるものをひとつ選んで下さい。

- ア. 従来 of 貸付担当職員数でも、充分に対応できるため
イ. 増員を希望しているが、増員にみあう事務費の確保ができないため
ウ. 適当な人材が見つからないため
エ. 他部署との連携を充実することで、貸付担当を増やさなくても対応できるため
→連携を充実した部署名をご記入ください：
オ. その他（具体的に： _____）

■総合支援資金の貸付にともなう相談支援のプロセスについてうかがいます。

A. 総合支援資金貸付の利用相談および申込の受付時の対応について、うかがいます。

問 20 貸付の可否を判断する以外に、生活課題を広く捉えるためのアセスメントをしていますか。	1. はい 2. いいえ
SQ20 上記で「1. はい」と答えた場合、生活課題を把握するためのアセスメントシートが、担当部署にありますか。	1. はい 2. いいえ
問 21 金銭管理能力のアセスメントに関する項目がありますか。	1. はい 2. いいえ
問 22 償還の見込みについて、今後の収入の手段や用途などを、具体的に確認していますか。	1. はい 2. いいえ
問 23 申請の有無や承認・却下に係らず、相談者が当面の生活の用途をたてられるよう、他の社会資源につながるのを支援していますか。	1. はい 2. いいえ

B. 総合支援資金の借受世帯の自立計画の策定について、うかがいます。

問 24 借受世帯に対し、自立計画を作成すること、社協はそれにもとづいてかわかることを、説明していますか。	1. はい 2. いいえ
問 25 借受人(世帯)のもっている「よさ」や「強み」に着目した支援計画の検討を、借受人とともに行なっていますか。	1. はい 2. いいえ
問 26 複雑な生活課題を抱えたケースや対応が困難なケースについて、自立計画を組織的に検討していますか。	1. はい 2. いいえ
問 27 計画内容を評価・見直す時期を設定していますか。	1. はい 2. いいえ

C. 総合支援資金の借受世帯に対する見守りと相談援助の実施について、うかがいます。

問 28 資金交付後、生活状況の把握等のために、借受人(世帯)と連絡をとっていますか(民生委員が連絡をとる場合も含む)。	1. はい 2. いいえ
問 29 借受人の就労にむけた具体的なはたらきかけ(社会資源の活用も含む)を行なっていますか。	1. はい 2. いいえ
問 30 借受人の金銭管理能力の向上にむけた、具体的なはたらきかけ(社会資源の活用も含む)を行なっていますか。	1. はい 2. いいえ
問 31 借受人が社会的なつながりを回復・維持し、地域社会で充実した生活をおくれるよう、具体的なはたらきかけ(社会資源の活用も含む)を行なっていますか。	1. はい 2. いいえ

■総合支援資金の貸付部門と社協内部の地域活動・相談部門との連携状況についてうかがいます。

問 32 あなたの社協では、低所得者の支援に向け、貸付部門と地域支援を担当する部門(地域福祉部・課など)が組織内で連携することが、これまでありましたか。

1. あった 2. なかった ⇒「あった」場合:「SQ32-1」に、お進みください。
⇒「なかった」場合:「SQ32-2」に、お進みください。

SQ32-1 連携が「あった」と回答された方にうかがいます。それはどのような連携ですか。次のなかから最もあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 担当者が必要な時に情報交換や協議をする
2. 担当者が定期的に情報交換や協議をする
3. 担当者以外の両部門の職員も集まり、必要に応じて情報交換や協議をする場がある
4. 担当者以外の両部門の職員も集まり、定期的に情報交換や協議をする場がある
5. その他(具体的に)

SQ32-2 連携が「なかった」と回答された方にうかがいます。その理由について、次のなかから最もあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 両部門の連携については考えたことがなかったから
2. 両部門が連携する必要性を特に感じなかったから
3. 両部門の連携の必要性は感じていたが、現実には難しかったから
4. その他(具体的に)

問 33 あなたの社協では、低所得者の支援に向けて、生活福祉資金の貸付部門と、地域支援を担当する部門（地域福祉部・課など）が、これから連携していく必要があると思いますか。

1. 必要がある 2. 必要はない ⇒「必要がある」場合：「SQ33-1」に、お進みください。
⇒「必要はない」場合：「SQ33-2」に、お進みください。

SQ33-1 「必要がある」と回答した方にうかがいます。それはどのような連携ですか。次のなかから最もあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 担当者が必要な時に情報交換や協議をする
2. 担当者が定期的に情報交換や協議をする
3. 担当者以外の両部門の職員も集まり、必要に応じて情報交換や協議をする場がある
4. 担当者以外の両部門の職員も集まり、定期的に情報交換や協議をする場がある
5. その他（具体的に)

SQ33-2 「必要はない」と回答した方にうかがいます。その理由について、次のなかから最もあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 両部門は連携しない方がよいから
2. 両部門が連携する必要性を感じないから
3. 両部門の連携は、現実には実施が難しいと思うから
4. その他（具体的に)

■貸付部門とハローワークとの連携についてうかがいます。

問 34 貸付部門とハローワークとの日常的な連携の状況として、最もあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 相手の機関がどのような業務を行っているか、知っている
2. お互いに顔見知りの関係である（名刺を交換している程度である）
3. 担当者と個別に連絡を取り合っている
4. 担当者が集まり、情報を共有しあう場が定期的にある
5. その他（具体的に)

問 35 ハローワークの事業（就職安定資金融資、訓練・生活支援給付）との役割分担が、実務上、円滑にいらっていますか。

1. よくできている 2. ある程度できている 3. あまりできていない 4. できていない

問 36 ハローワークとの連携の充実にむけ、次のことをこれまでに実施しましたか。

1) 社協内部でのハローワークの業務に関する説明会ないし研修の実施	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である
2) 社協の職員とハローワーク職員との合同による研修・勉強会等の実施	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である

3)「第2のセーフティネット」に関する共通の運用基準の作成（パンフレット、マニュアル等）	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である
4) 相談者の生活課題把握のためのアセスメント様式について、ハローワークとの項目の共有	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である
5) 上記以外の取組み（具体的に： _____）	

■貸付部門と福祉事務所（生活保護担当）との連携についてうかがいます。

問37 貸付部門と福祉事務所（生活保護担当）との日常的な連携の状況として、最もあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 相手の機関がどのような業務を行っているか、知っている
2. お互いに顔見知りの関係である（名刺を交換している程度である）
3. 担当者と個別に連絡を取り合っている
4. 担当者が集まり、情報を共有しあう場が定期的にある
5. その他（具体的に _____）

問 38 生活保護担当との役割分担が、実務上、円滑にいらいますか。

1. よくできている 2. ある程度できている 3. あまりできていない 4. できていない

問 39 生活保護担当との連携の充実にむけ、次のことをこれまでに実施しましたか。

1) 社協内部での福祉事務所の生活保護業務に関する説明会 ないし研修の実施	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である
2) 社協の職員と福祉事務所の生活保護担当職員との合同に よる研修・勉強会等の実施	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である
3)「第2のセーフティネット」に関する共通の運用基準の作 成（パンフレット、マニュアル等）	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である
4) 相談者の生活課題把握のためのアセスメント様式につい て、福祉事務所との項目の共有	1. 実施した 2. 実施していない 3. 年度内に実施予定である
5) 上記以外の取組み（具体的に： _____）	

■貸付部門と、ハローワーク・福祉事務所以外の社会資源との連携について、うかがいます。

問 40 現在、よく連携している社会資源（関係機関等）を、次頁の表のなかから5つ以内で選び、その番号を記入してください。

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

問 41 上記で選んだもの以外で、これから連携が大事だと思う社会資源（関係機関等）を、次頁の表のなかから5つ以内で選び、その番号を記入してください。

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

- | | | | |
|---------------------------------|---------------|-----------|----------------|
| 1 民生・児童委員 | 2 町内会・自治会 | 3 公民館 | 4 社会福祉の施設 |
| 5 地域包括支援センター | 6 保健所・保健センター | 7 医療機関 | 8 警察 |
| 9 消防 | 10 法律事務所・弁護士会 | 11 保護司会 | 12 商工会議所 |
| 13 民間企業（営利） | 14 社会企業 | 15 生活協同組合 | 16 農業協同組合 |
| 17 労働組合 | 18 銀行 | 19 信用組合 | 20 不動産屋（の業界団体） |
| 21 低所得・困窮者支援に関わる地域のボランティア団体やNPO | | | |
| 22 外国人支援団体 | | | |
| 23 地域の反貧困ネットワーク | | | |
| 24 その他（具体的に | | | |

■ 第2のセーフティネットのあり方についてうかがいます。

問 42 利用者からは、総合支援資金の貸付制度はどのような制度に見えるでしょうか。以下のア～オのそれぞれについて、あてはまるものをひとつ選んでください。

ア. 貸付窓口に関する情報が広く行き渡っている

- 〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

イ. 借受の要件をクリアしやすい

- 〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

ウ. 迅速に借りられる

- 〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

エ. 貸付以外の様々な相談に丁寧に応じてもらえる

- 〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

オ. その他

具体的に：

問 43 あなたは、総合支援資金等の借受人に対する自立にむけた相談援助・支援を、十分に行なえていると思いますか。

1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない

問 44 支援の課題についてうかがいます。以下のア～ケのそれぞれについて、あてはまるものをひとつ選んでください。

ア. 担当件数が多くて十分なかかわりを持つことができない

- 〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

イ. ケースごとの自立援助の方針が担当者（またはチーム）のなかで明確でない

- 〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

ウ. 自立のための相談援助に関する専門的知識や技術が担当者（またはチーム）には足りない

- 〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

エ. 本来であれば生活保護が必要と思われる方／世帯に、貸付で対応することが多く、利用者のニーズに、貸付部門の支援内容がマッチしない

〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

オ. 貸付担当の部署全体として、自立支援に積極的に取り組もうとする雰囲気がない

〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

カ. 借受人自身が、貸付・借受以外の相談援助・支援を希望しない

〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

キ. 迅速な貸付が優先され、時間をかけた相談関係の構築が難しい

〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

ク. 「相談と一体的な貸付の実施」という認識が関係機関に共有されていない

〔1. 非常にそう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない〕

ケ. その他：上記以外に主な理由がありましたらご記入ください。

問 45 総合支援資金の貸付や借受人への自立支援のあり方について、日ごろお感じになっておられることや、このアンケートについてのご意見など、ご自由にご記入ください。

設問は以上です。長時間のご協力ありがとうございました。

差し支えなければ、ご回答いただいた方のご所属・お名前・連絡先をご記入下さい。(記入内容の確認のために連絡させていただく場合がございます)。

社協名： _____ 部署名： _____

お名前： _____ 電話番号： _____

単純集計結果一覧表

問1① 社協の市町村区分...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	市 (東京23区を含む)	222	42.1
2	区 (政令市の区)	29	5.5
3	町	226	42.9
4	村	50	9.5
5	政令市(送付外)	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	527	100.0

問1② 管内の人口...(数量)

合計	30937522.0
平均	59495.2
分散(n-1)	7798007703.3
標準偏差(n-1)	88306.3
最大値	693297.0
最小値	391.0
不明	7
全体	520

問1③ 管内の高齢化率...(数量)

合計	13357.8
平均	26.6
分散(n-1)	43.2
標準偏差(n-1)	6.6
最大値	54.5
最小値	11.6
不明	24
全体	503

問1④ 管内の世帯数...(数量)

合計	12584789.0
平均	24389.1
分散(n-1)	1517860542.6
標準偏差(n-1)	38959.7
最大値	344808.0
最小値	209.0
不明	11
全体	516

問1⑤ 市町村合併の有無...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	144	27.3
2	なし	377	71.5
	無回答	6	1.1
	全体	527	100.0

問1⑥ 担当エリアを管轄する福祉事務所の数...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	一箇所のみ	503	95.4
2	二箇所以上	8	1.5
	無回答	16	3.0
	全体	527	100.0

問2①-1 社協全体の職員／正規職員...(数量)

合計	9730.0
平均	21.7
分散(n-1)	1258.4
標準偏差(n-1)	35.5
最大値	475.0
最小値	0.0
不明	79
全体	448

問2①-2 社協全体の職員／非正規職員...(数量)

合計	16450.0
平均	43.6
分散(n-1)	5877.1
標準偏差(n-1)	76.7
最大値	949.0
最小値	0.0
不明	150
全体	377

問2①-3 非正規職員／常勤...(数量)

合計	6196.0
平均	16.3
分散(n-1)	853.6
標準偏差(n-1)	29.2
最大値	340.0
最小値	0.0
不明	148
全体	379

問2①-4 非正規職員／非常勤...(数量)

合計	11527.0
平均	35.1
分散(n-1)	3709.7
標準偏差(n-1)	60.9
最大値	685.0
最小値	0.0
不明	199
全体	328

問2①-5 社会福祉士／正規職員...(数量)

合計	1273.0
平均	3.3
分散(n-1)	15.7
標準偏差(n-1)	4.0
最大値	30.0
最小値	0.0
不明	138
全体	389

問2①-6 社会福祉士／常勤...(数量)

合計	195.0
平均	1.1
分散(n-1)	3.4
標準偏差(n-1)	1.8
最大値	13.0
最小値	0.0
不明	347
全体	180

問2①-7 社会福祉士／非常勤... (数量)

合計	51.0
平均	0.4
分散(n-1)	0.8
標準偏差(n-1)	0.9
最大値	7.0
最小値	0.0
不明	391
全体	136

問2①-8 精神保健福祉士／正規職員... (数量)

合計	163.0
平均	0.8
分散(n-1)	1.2
標準偏差(n-1)	1.1
最大値	7.0
最小値	0.0
不明	318
全体	209

問2①-9 精神保健福祉士／常勤... (数量)

合計	45.0
平均	0.3
分散(n-1)	0.6
標準偏差(n-1)	0.8
最大値	5.0
最小値	0.0
不明	392
全体	135

問2①-10 精神保健福祉士／非常勤... (数量)

合計	11.0
平均	0.1
分散(n-1)	0.1
標準偏差(n-1)	0.4
最大値	3.0
最小値	0.0
不明	408
全体	119

問2①-11 介護福祉士／正規職員... (数量)

合計	4027.0
平均	10.2
分散(n-1)	271.6
標準偏差(n-1)	16.5
最大値	165.0
最小値	0.0
不明	131
全体	396

問2①-12 介護福祉士／常勤... (数量)

合計	1765.0
平均	5.6
分散(n-1)	89.0
標準偏差(n-1)	9.4
最大値	119.0
最小値	0.0
不明	210
全体	317

問2①-13 介護福祉士／非常勤... (数量)

合計	1703.0
平均	6.6
分散(n-1)	146.6
標準偏差(n-1)	12.1
最大値	164.0
最小値	0.0
不明	267
全体	260

問2①-14 介護支援専門員／正規職員... (数量)

合計	3324.0
平均	7.9
分散(n-1)	101.1
標準偏差(n-1)	10.1
最大値	79.0
最小値	0.0
不明	104
全体	423

問2①-15 介護支援専門員／常勤... (数量)

合計	829.0
平均	3.3
分散(n-1)	36.7
標準偏差(n-1)	6.1
最大値	55.0
最小値	0.0
不明	273
全体	254

問2①-16 介護支援専門員／非常勤... (数量)

合計	352.0
平均	1.9
分散(n-1)	8.1
標準偏差(n-1)	2.9
最大値	19.0
最小値	0.0
不明	341
全体	186

問2②-1 地域福祉活動専門員／正規職員... (数量)

合計	926.0
平均	2.7
分散(n-1)	12.3
標準偏差(n-1)	3.5
最大値	26.0
最小値	0.0
不明	178
全体	349

問2②-2 地域福祉活動専門員／非正規職員... (数量)

合計	150.0
平均	0.9
分散(n-1)	3.5
標準偏差(n-1)	1.9
最大値	12.0
最小値	0.0
不明	364
全体	163

問2②-3 非正規職員／常勤...(数量)

合計	147.0
平均	1.1
分散(n-1)	3.5
標準偏差(n-1)	1.9
最大値	12.0
最小値	0.0
不明	398
全体	129

問2②-4 非正規職員／非常勤...(数量)

合計	33.0
平均	0.3
分散(n-1)	1.2
標準偏差(n-1)	1.1
最大値	9.0
最小値	0.0
不明	430
全体	97

問2②-5 社会福祉士／正規職員...(数量)

合計	294.0
平均	1.3
分散(n-1)	1.6
標準偏差(n-1)	1.3
最大値	8.0
最小値	0.0
不明	308
全体	219

問2②-6 社会福祉士／常勤...(数量)

合計	28.0
平均	0.4
分散(n-1)	0.5
標準偏差(n-1)	0.7
最大値	4.0
最小値	0.0
不明	450
全体	77

問2②-7 社会福祉士／非常勤...(数量)

合計	0.0
平均	0.0
分散(n-1)	0.0
標準偏差(n-1)	0.0
最大値	0.0
最小値	0.0
不明	469
全体	58

問2②-8 精神保健福祉士／正規職員...(数量)

合計	35.0
平均	0.3
分散(n-1)	0.3
標準偏差(n-1)	0.6
最大値	2.0
最小値	0.0
不明	415
全体	112

問2②-9 精神保健福祉士／常勤... (数量)

合計	13.0
平均	0.2
分散 (n-1)	2.0
標準偏差 (n-1)	1.4
最大値	11.0
最小値	0.0
不明	466
全体	61

問2②-10 精神保健福祉士／非常勤... (数量)

合計	0.0
平均	0.0
分散 (n-1)	0.0
標準偏差 (n-1)	0.0
最大値	0.0
最小値	0.0
不明	469
全体	58

問2②-11 介護福祉士／正規職員... (数量)

合計	116.0
平均	0.8
分散 (n-1)	1.7
標準偏差 (n-1)	1.3
最大値	10.0
最小値	0.0
不明	388
全体	139

問2②-12 介護福祉士／常勤... (数量)

合計	14.0
平均	0.2
分散 (n-1)	0.2
標準偏差 (n-1)	0.4
最大値	1.0
最小値	0.0
不明	457
全体	70

問2②-13 介護福祉士／非常勤... (数量)

合計	0.0
平均	0.0
分散 (n-1)	0.0
標準偏差 (n-1)	0.0
最大値	0.0
最小値	0.0
不明	468
全体	59

問2②-14 介護支援専門員／正規職員... (数量)

合計	243.0
平均	1.3
分散 (n-1)	2.1
標準偏差 (n-1)	1.5
最大値	8.0
最小値	0.0
不明	337
全体	190

問2②-15 介護支援専門員／常勤...(数量)

合計	16.0
平均	0.2
分散(n-1)	0.3
標準偏差(n-1)	0.5
最大値	2.0
最小値	0.0
不明	459
全体	68

問2②-16 介護支援専門員／非常勤...(数量)

合計	0.0
平均	0.0
分散(n-1)	0.0
標準偏差(n-1)	0.0
最大値	0.0
最小値	0.0
不明	469
全体	58

問3 コミュニティ・ソーシャルワーカーの配置...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	配置あり	105	19.9
2	配置なし	409	77.6
	無回答	13	2.5
	全体	527	100.0

問4 日常生活自立支援事業の実施...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	443	84.1
2	いいえ	77	14.6
	無回答	7	1.3
	全体	527	100.0

問4-1 専門員...(数量)

合計	394.0
平均	1.3
分散(n-1)	1.3
標準偏差(n-1)	1.1
最大値	7.0
最小値	0.0
不明	129
非該当	84
全体	314

問4-2 生活支援員...(数量)

合計	2637.0
平均	6.6
分散(n-1)	99.8
標準偏差(n-1)	10.0
最大値	84.0
最小値	0.0
不明	45
非該当	84
全体	398

問5 会員制の住民参加型サービスの実施...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	104	19.7
2	いいえ	397	75.3
	無回答	26	4.9
	全体	527	100.0

問5-1 担当職員...(数量)

合計	221.0
平均	2.3
分散(n-1)	10.2
標準偏差(n-1)	3.2
最大値	27.0
最小値	1.0
不明	6
非該当	423
全体	98

問5-2 協力会員...(数量)

合計	7649.0
平均	95.6
分散(n-1)	24119.9
標準偏差(n-1)	155.3
最大値	1042.0
最小値	0.0
不明	24
非該当	423
全体	80

問5-3 利用会員...(数量)

合計	19164.0
平均	236.6
分散(n-1)	308738.6
標準偏差(n-1)	555.6
最大値	4023.0
最小値	0.0
不明	23
非該当	423
全体	81

問6① ふれあい生き生きサロンの運営支援...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施している	393	74.6
2	実施していない	110	20.9
	無回答	24	4.6
	全体	527	100.0

問6①-1 サロンの数...(数量)

合計	13520.0
平均	37.1
分散(n-1)	5711.3
標準偏差(n-1)	75.6
最大値	1082.0
最小値	1.0
不明	29
非該当	134
全体	364

問6② ミニデイサービスの運営支援...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施している	91	17.3
2	実施していない	387	73.4
	無回答	49	9.3
	全体	527	100.0